

発表者16

セン ミキ



● 出身・ルーツ

カンボジア

● 日本に来たのはいつ？

日本生まれ

(小学校1～5年生はカンボジア)

● 発表者コメント

人の前で話をする勇氣を持ちたいです。

● 推薦者コメント 【相模向陽館高校 上田先生】

しっかりと内容を考え、練習を行い、堂々とした発表を本番でできるよう、がんばってください。

スピーチタイトル 「前向きになれること」

私は、日本で生まれて、小学校1年生まで日本で過ごしていました。その後、お母さんの国であるカンボジアに引っ越すことになりました。お母さんがカンボジア人なので、クメール語を聞いて理解することは少しできましたが、読んだり書いたりすることはできませんでした。そのため、はじめの頃に、名前を書く欄にappleと書いたりしていました。

その後、カンボジアの学校でたくさん勉強して、クメール語の読み書きもできるように、楽しく過ごしていましたが、小学校5年の終わり、日本の小学校6年生で、ふたたび日本に戻ってこなければならませんでした。私は、カンボジアで一生懸命勉強して、もう日本語は全部忘れてしまっていました。

日本の学校に行っても、全然日本語は分からないし、友達はできないし、本当に辛かったです。毎日がイヤで、どうやって過ごしたらいいか悩んでいました。でも、いつまでも悩んでいても仕方ないので、日本語が上手になるために行動をとろうと決めました。そこで、私は二つのことを頑張りました。一つは、映画を見ることです。日本語が分からなくても、映像がともおもしろいので、おばあさんが「もういや」と言うまでたくさん質問をしながら勉強しました。もう一つは、小学校6年生の国際級にいたベトナム人とお友達になることです。彼女も、日本に来たばかりで、日本語が全然分からないでいました。それでも、二人で日本語が上手になりたくて、たくさんたくさん

話しました。下手でも、いつか上手になるように、二人で頑張ってきました。

今回、中学時代、悩んでいたときに私が読んで心打たれた本を紹介したいと思います。

「大人も気づいていない大切なこと」という本です。そこには「いなくていい人間なんてこの世には存在しない」と書いてありました。私は、友達ができなかったり、親に反抗したり、全然いい子じゃなくて、一人していると「私なんていない、何の社会の役に立たないダメ人間だ」と思うこともありました。さらに、日本人ともうまくつきあえなかったり、苦しくて、自分がどうして生きているんだろう、どうしてここにいるんだろうとずっと悩んでいました。メンタルが限界で、もうダメだと思うことも何回もありました。

でも、この本を読んで、自分がいていいんだ、存在していいんだと感ずることができました。そして、他の人と比べるのではなく、じぶんらしくあることで、自分で自分を認めることができるようになりました。

そこで、今では日本語がだんだん上手になって、自分で自信をつけたくて、このスピーチ大会に参加しようと思いました。自分で自分を認めることの大切さを、このスピーチ大会で伝えたいと思いました。

はじめは、日本とカンボジアの違いについて話そうと思ったりもしました。日本とカンボジアの違いを説明することは、どちらかの国の良いところを紹介すると同時に、もう一つの国を悪くいってしまうのではないかと悩んでしまいました。たとえば、カンボジアに住んでいた時には、自分で外に出ることはできませんでした。何をするのも親や親せきが一緒にいて、一人で何かをすることは禁止されていま

た。しかし、日本では、一人でどこにでも行くことができます。それは、日本が安全だからかもしれません。ただ、日本は安全ですが、私はアルバイトをしていた時に、自分だけ注意されていました。他の人が同じことをしても平気なのに、自分だけ注意されていました。また、学校の話だと、カンボジアでは、自分を認めることは良いことだとされません。学習の振り返りで、自分は頑張ったということとは、変な印象があります。しかし、日本では自分がどれだけ頑張ったかを書かなければなりません。

このようなことは、たくさんありますが、私がこのスピーチで伝えたいことは、そのようなことではなく、人と比べる、国を比べるのではなく、そんなことよりも、皆さんに自分を大切にしてほしいと考えたからです。

もちろん、私自身今でも、何をしたらいいのか、どうしたらいいのか分かりません。いろいろ考え方も変わるし、うまく表現できないこともあるし、ただ、話したいことを話しているだけのこともたくさんあります。でも、こうやって人と話すことが好きだから日本語が上手になったし、友達もできたし、毎日、楽しく過ごすこともできるようになってきました。私にダメ人間じゃなくて、頑張っているとみんなが言ってくれるととても嬉しいです。本を読んで、私はもっと、自分に自信をもって、人と話したいと思うようになりました。

自分が日本とカンボジアを行ったり来たりしながら、そして大切な本を通して経験したことを話して、それで、みんなに居場所があること大切さを、いろいろな人に話すことで、少しでも誰かの役に立てたら良いなと思うようになりました。皆さんもぜひ、人と比べるのではな

く、自分で自分を認めて、自分を大切にしてほしいと思います。

皆さん、聞いてくださってありがとうございました。



来場者・発表者からの応援メッセージ

- スピーチ大会に志願したなんて素晴らしいです。日本とカンボジアの架け橋になる白をいのってます。がんばれ～
- 自分を認めること、信じることは大切なことですね。色々な友だちと会話して多くの本を読んでご自分を成長させてください。勇気をもらいました。ありがとうございます。
- 他の人と比べるのではなく自分らしく生きることの大切さ伝わってきました。今日のスピーチ大会に出たことはセンミキさんの大きな自信になると思います。スピーチの内容、とても良かったです。
- いいテーマを選んで、スピーチしましたね。自分を大切に、ミキさんらしく生きてってください！
- 日本とカンボジア、2つの国で生活していくのは言葉・習慣等とても大変なことだろうと思います。とても努力されたんですね。自信をもっていいと思いますよ！カンボジア語も忘れなくて下さいね。
- とても感動的なスピーチでした。これからも自分の世界を広げていってください。
- いままでいろんなたいへんなことがあったとおもいますが、それらすべてはむだではなくたいせつなちからになるとおもいます。センミキさん、あなたがいつもあなたらしくいられますように。これからもがんばってください。おうえんしています。
- 勇気を出してこのコンテストに出場し、誠実に言葉を紡いでくれたと思いました。自分らしさを大切に、また人との出会いを大切に進んでください。
- お疲れ様。すてきなスピーチでした！よくがんばりました。たくさん努力してきたのは伝わりました！これからもがんばってね。
- 前向きになることを努力しているミキさん。これからも自分らしく過ごしてください。
- 素晴らしい本に出会えてよかったですね。がんばる事、努力する事、自信を持つ事、とても大切です。これからも日本を好きになって、カンボジアとのかけ橋になってください。
- 周りとうまくコミュニケーションとれずに悩んでいた時に自分の存在を自分で認めることの大切さ、自分に自信をもつこと、自分らしさが大切だと気づいた経験、本との出会いがよく伝わりました。
- みきちゃん～！ちょう最高でした！！練習のときよりずっと上手になってびっくりした！お疲れ様❤️
- ミキさん、たくさん努力したんですね。がんばりましたね。人と比べるのではなく、自分らしく生きることは本当にだいじですね。ミキさん自身のことばでのスピーチがすてきでした。